

北欧のホワイトクリスマス

雪のような白い花とマットな色の枝葉をいれて北欧の冬の森をイメージしたアレンジメントをつくりましょう。

材料：
吸水性スポンジ……………適量
ブリキの長方形花器……………1つ

使用花材：
フランネルフラワー……………3本
スプレーバラ(グリーンアイス)……………3本
ユーカリの実(グロボラス)…2本
シロタエギク……………1本
シルバーレース……………2本
コニファー(ブルーアイス)…1本

Artist
MY'S 今泉冴香
MY'S 主宰。美術大学在学中より花屋に勤務し、アシスタントを経て独立。ギフトフラワーを中心に、空間装飾やブライダル、アパレルとのコラボレーションなどを手がける。

これまでに開催したフラワーレッスンのレシピーを特別に公開します！



1. 吸水性スポンジを器のふちから1cm程度出るようにセットします。
2. フランネルフラワーとバラが一番の見せ場となるように挿し、そこを中心に流れを考えながら花を配置します。スプレー咲きものは、枝分かれ部分で切って挿していきます。
3. 平坦にならないようメリハリをつけて挿していき、森から摘んできたようなナチュラルさを出しましょう。周りやすきを葉で埋めたら、できあがり！



Books

寒さがつのる日は、部屋で本をめくってみませんか。冬におすすめの書籍をご案内します。



『フィンランドという生き方』

食卓などの日常風景から政治や愛にいたるまで、著者独自の視点からフィンランドの光と闇を映し出した一冊。厳しい自然の中で育まれた知恵は、私たちの暮らしにヒントを与えてくれます。

定価：2,000円(税別)
目覚ゆみ 著
(フィルムアート社)

『ヘルガ・イサガーの、あみもの子どもと大人のおしゃれなニット』

デンマークのニットデザイナー、ヘルガ・イサガーが手がけるブランド「amimono」の英語パターン集。対訳とオリジナル解説が入っており、原書の雰囲気を楽しむながら楽しく編めます。

定価：1,850円(税別)
Helga Isager 著／amirisu 訳
(ピー・エス・エス新社)

幸せ運ぶヤドリギリース

ヨーロッパでは、クリスマスの日にヤドリギの下でキスをした恋人たちは、永遠に結ばれるという言い伝えがあります。そんな神話をもつヤドリギを入れたリースを飾って、幸せなクリスマスを過ごしましょう。

6,000円(税別) ※12月より販売スタート



雪をまとったクリスマスツリー

もみの木に雪が積もった情景をイメージしたアレンジメントです。小さなツリーが部屋の中にクリスマスの雰囲気を運んでくれます。

6,000円(税別)

Flower

クリスマスシーズンを迎えるのにふさわしい、ナチュラルであたたかみのある商品をそろえました。



Tronc de kusakanmuri
トロン・ドゥ・クサカムリ
【草冠の木】もみの木
H 150cm / 15,000円(税別)



森の木の実のリース
クリスマスリース
M 6,000円 L 8,000円(それぞれ税別)

オンラインショップ、店頭にてご注文を承ります。全国へ配送します。

kusakanmuriのいちおし！

雪の降りしきる冬の森から集めてきたような草花をご紹介します。

コットンの実

寒い季節でも、ふわふわした質感があたたかな気分してくれます。綿の奥には黒い実が隠れています。(中山優香)

アカザル

やわらかくよくしなるので、カゴを編んだりリースの土台をつくるのに適しています。さまざまなアレンジを楽しめます。(吉田麗)

ヒバ(ブルーアイス)

霜がおりたようなグリーンが美しい針葉樹。香りが良いのでリースにして飾るのもおすすめです。(中山千裕)

※入荷状況によりご用意できない場合もございます。

kusakanmuri ブックマーク

最新情報をお知らせします！

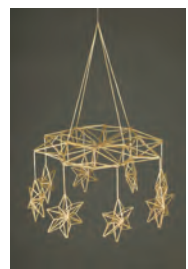
Lesson

多肉植物と触れ合うひととき

「季色」主宰の近藤義展さんによる多肉植物のアレンジメントレッスンはじまります。季節ごとに表情を変えていく多肉植物の魅力を引き出し、自分らしく演出してみませんか。初回レッスンは11月24日(月)です。



Event



フィンランドをもっと知ろう！

ワークショップ&クリスマスマーケット開催

「ヒンメリづくりのワークショップ」

ウッラ・キンスネンさんによるワークショップを行います。

日時：2014年11月23日(日)15:00～

「北欧のクリスマスマーケット」

ぬくもりあふれるクリスマス雑貨を販売します。

期間：2014年11月14日(金)～12月25日(木)

※詳細およびお申し込みはウェブサイトをご覧ください。

Event

青山ファーマーズマーケットに出店

青山の国連大学前で開催される「ファーマーズマーケット」に出店します。クリスマスリースや正月飾りなど、冬のおすすめ商品を並べてお待ちしております。

日時：2014年12月21日(日)10:00～16:00
場所：青山国連大学前広場



コロリの 白い花 みつけろ！

vol.10

♪さざんか さざんか 咲いた道♪

11月は一年の中でも花が少ない季節。そのうえ白い花となると探すのが大変だが、サザンカがあった。この花を見つけると条件反射で「かきねの かきねの まがりかど」の唄が頭に浮かぶ。そう、二番の歌詞は「さざんか さざんか さいたまち」ではじまる。

町の中から垣根が消えて

久しい。深い緑の常緑広葉樹、サザンカの垣根なんて今や絶滅危惧種では？「たきびだ たきびだ おちばたき」の焚き火さえ自由にできないし、「しもやけ おててが もうかゆい」なんて、霜焼けの子どもなんて何処へいった？時代は流れる。私が子どものころまで普通にあった町の情景が、歴史の一コマになってしまった。

山茶花をサンサカと読んだのが転じてサザンカになったとか。ツバキ科だが花びらが離れて散る姿に風情がある。学名はカメラリア ササンクア、日本が原産地。

文・写真／田中晃二 通称コロリ。1947年長崎生まれ。教科書のデザインや女性誌「クロワッサン」のアートディレクションなどに関わる。



サザンカは赤い花が多いが、原種は白い一重咲き
2012年11月 新宿御苑

冬のこころなぎ

kusakanmuriのコンセプト
「こころをつなぐ」をテーマに、季節の移り変わりを
楽しむアイデアをご紹介します。



illustration: Yuka Hashimoto

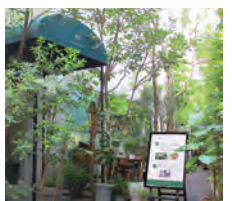
フィンランドの冬に欠かせない麦わらモビール「ヒンメリ」は、ヨウル(北欧の冬至祭)を祝う装飾品として古くから親しまれています。手づくりのヒンメリで、心あたたまる冬を迎えませんか。



- JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン
恵比寿駅西口 徒歩4分
- 東京メトロ日比谷線 恵比寿駅4番出口 徒歩2分

※グリーンのフラッグが目印です

kusakanmuri
〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿西1-17-2
tel: 03-6415-4193
http://www.kusakanmuri.com
open:12:00 close:20:00
火曜定休



Cover Photo: 本多康二 Report Text: 足田祥世
Art Direction & Design: Concent, Inc.

kusakanmuri

遠く
近く
フィンランド



草冠通信

2014・2015

Winter

vol.12

フラワーショップ kusakanmuri より
冬の最新情報をお届けします。

Art

四季に恵まれた日本に多くの伝統色があるように、フィンランドの芸術も自然や動物と深くつながっています。自然とイメージが融合したアートは、多くの美術館やギャラリーで目に見ることができます。



House

日本では珍しくなった平屋建ての「長屋」。しかし今、フィンランドでは北欧版長屋とも言える「ローハウス」の人気が高まっています。一軒家とアパートの長所を掛け合わせたローハウスと、郊外のサマーハウスを両方持つのがポピュラーです。

Night

フィンランドの北部では太陽が沈まない夏の白夜と、太陽が昇らない冬の極夜がみられます。世界で真夜中の太陽を見ることができる地域に住む人の3分の2はフィンランドの人々。北部ラップランドでは、約2ヶ月間も太陽の沈まないシーズンがあるそうです。



森と湖の国、フィンランド。19万個以上の湖が存在し、国土の65%を占める森林面積は世界第1位を誇ります(日本は第3位！)。37カ所ある国立公園は、大自然を感じる憩いの場として親しまれています。

Quiz

フィンランドーの人気者サンタクロースは、「コルヴァウトゥトゥリ」という山に暮らしています。この「コルヴァ」とはフィンランド語で何という意味でしょう？



Park

Organic

日本と同じく、フィンランドでも拡大しているオーガニック市場。エコロジーに関心の高いフィンランド人は、食べ物はもちろん、衣類や住まいを選ぶ時にも自然への配慮を重視します。

Character

日本では大人からも絶大な人気がある「ムーミン」ですが、意外にも、本国では大人がムーミンを読むのは稀なこと。キャラクターは子どものものと思われているからです。ちなみに、日本のハローキティやドラえもんはフィンランドの子どもたちにも大人気です。



Job

ワーク・ライフ・バランス先進国のフィンランド。その先駆的な産休・育休制度は世界から注目されています。一般的に生後9ヶ月までは親と子どもが一緒にいるべきだといわれ、両親ともに取得できる産休に加え、両親でわけ合える育休が認められています。父親の育休取得率は8割！

Kid

フィンランドの「育児パッケージ」は、戦後1940年代から続く伝統的な子育て支援。ベビー服やおもちゃなど、実用的な育児グッズが毎年4万人に社会保障庁より届けられています。赤ちゃんへの初めてのバースデープレゼントです。



写真提供／松本のり子

Education

世界トップレベルのフィンランドの教育は、あらゆる国民にチャンスが与えられるよう、すべて無償で行われています。独立心と協調性を重視するお国柄、選択授業やグループワークも豊富。どの学校も教育の質が高く、入学試験はありません。



Dance

フィンランド人は、大のダンス好き。夏の夜には日本の盆踊りのように、社交ダンスを楽しみます。中でも一番人気なのは、フィンランド発祥のフィンランド・タンゴ。「年に一度のコンペティションで優勝すると、クイーン&キングの称号が与えられ、一躍スターになれるんですよ。」(Ullaさん)

～ Finland A to Z ～

遠くて近いフィンランド

“森と湖の国”フィンランド。日本から北西にはるか約7,500kmも先に位置しますが、豊かな自然環境、四季とつながる暮らしや美意識など、日本と近い点も多くありそうです。フィンランドの文化をひもときながら、豊かな冬を過ごすヒントを見つけてみませんか？

Runway

日本の女性に大人気のマリメッコ。本国でもポピュラーなのかと思いきや…「多くのフィンランド人は暖かい服やしっかりしたレインコートなど実用的な服を選びます。黒やグレーのダークカラーが好きで、カラフルな小物はファッションのアクセントとして取り入れるんですよ。」(Ullaさん)



Summer

短い太陽の季節を存分に楽しむため、フィンランド人は夏になると家族で郊外へと向かいます。森や湖のほとりに建てられるサマーハウスはそのシンボリック的存在。シンプルなハウスでのんびり過ごしたり、コンサートやフェスティバルなどのイベントで盛り上がったり、開放的な夏を過ごします。

Tradition

北ラップランド地方に住むサーミは、北極圏の厳しくも美しい自然と共に生きる先住民族。独自の伝統文化を継承する北方少数民族として、アイヌの人々との交流もさかんです。

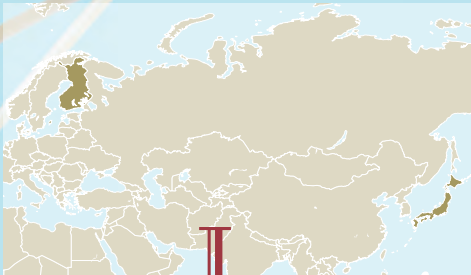


Food

フィンランド名物といえば、アンモニアでつくられた塩味のお菓子「サルミアッキ」。いわば日本の抹茶のような存在で、国民的人気を誇っているのですが、その刺激的な風味から「世界一まずい」と称されることも。



飛行時間の長さからいえば、フィンランドはEU諸国の中で最も日本に近い国(成田～ヘルシンキは約9時間30分)。EU諸国の最北に位置し、面積の4分の1は北極圏内です。



Location

Winter

12月から1月初旬まで、北部ラップランドは太陽が昇らない日の多い極夜の季節を迎えます。フィンランドの冬、美しいライトアップや鮮やかなデコレーションで街が色づくのは、気持ちが塞ぎがちな時期だからこそ明るく楽しもうというフィンランドの人々の想いがあるからなのです。



Xmas



サンタクロースの国がひとときわ華やぐクリスマス。雪に反射した光が街を包み、心を和ませてくれるこの時を、フィンランドの人々はずっと待っています。日本では恋人たちのイブは、フィンランドでは平和を祈る日でもあります。過去に感謝し、今日の幸せを祈るクリスマス。あなたはどうぞ過ごしますか？

Yard

フィンランドの一軒家の庭はとても広く、子どもたちが遊びまわるにはうってつけの場所。夏になると親が子どものためにレイキモッキという小さな家を建てます。国が違えど、自分だけの秘密基地は子ども時代になくしてはならないものなのでしょう。

Zzz...

おやすみなさい。



取材協力／Ulla Kinnunen(ウッラ・キンヌネン)

文学修士。フィンランドセンター・文化・コミュニケーションマネージャー。フィンランド建築やデザインに造詣が深く、『Inside the Villa Mairea』(キルシ・グリックセンとの共編)、『Aino Aalto』などの編集もおこなう。



＊フィンランドセンターは、研究、高等教育や芸術、文化における日本とフィンランド間の連携を推進する機関です。

写真提供／Visit Finland, Team Finland

参考文献／フィンランド政府観光局公式ホームページ

【FINFO 2011】【FINFO 2014】

発行：フィンランド外務省 広報文化局パブリックディプロマシーユニット、フィンランド大使館広報部

Background Photo: 本多康二